

ナラ枯れ対策メモ

松戸里やま応援団では 7月30日に森林研究所 福島・福原・幸氏に来ていただき、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の勉強会を開催、今年になってから カシナガの被害状況が松戸里やまG数ヵ所の森で確認されており、このまま放置すると 来年は被害が蔓延し 酷いことになるとの見方。研究所の話によると 市川・柏・松戸・印西などでの感染が確認されており 東葛地区全域に広がっていることが明白になっている。

松戸里やま応援団の各森では 感染状況を調査・確認し、8月上旬には 提案された簡易トラップを500セット作成し 被害木に設置を行う予定。里やま活動で出来る範囲の対策を行い 感染被害の拡大を防ぐために 迅速な初期対応を行って行く考えだが、防除にあたって 薬剤や使用機材の用意など大幅な経費を要するので地権者にも負担をお願いし、感染木材の処分などは 行政との連携で進めていく必要がある。

森林研究所では Forest letter にナラ枯れ被害の記事を掲載して 注意喚起をして 調査を進めているが、千葉県森林課が旗振りをして 感染被害拡大防止対策を推進、里山センターが広報推進、各市では管轄課が情報収集・調査を行い 対策実施を推進する体制を早急に整備することが肝要と考える。7月の勉強会に 松戸市みどりと花の課と農政課が出席で、今後は早急に関連部署が感染防止活動を推進し 市長にも認識いただき 全市的取り組みとなるよう願っている。